

<中学国語>

- ◆ 2021年より中学校で新学習指導要領が全面実施。
- ◆ 授業時間数は、現行と同じ。
- ◆ 学年別漢字配当表が改定。
- ◆ 内容構成を【知識及び技能】【思考力・判断力・表現力】に整理。
- ◆ 語彙の充実を図ることが示されるとともに、「情報の扱い方」が新設。

学年別漢字配当表の改定

新指で中学から小学に移行した都道府県の漢字について、中学では書けるようになる必要がある。具体的には、公立高入試にて「書き」でも出題されるようになる。

小学に移行した漢字

茨 媛 岡 湯 岐 熊 香 佐 埼 崎 滋 鹿 縄 井 沖 枋 奈 梨 阪 阜

新学習指導要領の内容構成

【知識及び技能】	【思考力, 判断力, 表現力等】
(1) 言葉の特徴や使い方	A 話すこと・聞くこと
(2) 話や文章に含まれている 情報の扱い方	B 書くこと
(3) 我が国の言語文化	C 読むこと

語彙指導の改善・充実

新指では、小・中の9年間を通して系統的に語彙指導の充実が図られている。これらの語彙は、単に言葉の意味を知るだけでなく、話や文章の中で使いこなせることが求められている。

情報の扱い方に関する事項の新設

近年公立高入試でも出題されているような、複数の資料から必要な情報を読み取って整理したり、読み取った内容をもとに自分の考えを表現したりする力がより重視されると考えられる。

新指では、「情報と情報との関係」「情報の整理」の2つに区分して指導内容を設けている。

	第1学年	第2学年	第3学年
情報と情報との関係	ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。
情報の整理	イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。	イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。